

令和6年度 草加市立青柳中学校 第1学年 理科シラバス

○教科の学習目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ① 「知識・技能」
- ② 「思考・判断・表現」
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ① 定期テスト・確認テスト
実技試験(パフォーマンステスト) 等
- ② 定期テスト
実験でのプリントの評価 等。
- ③ 授業での取り組み【挙手・発言】【提出物】

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。
1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

- ① 「知識・技能」
 - ・教科書の太字の重要語句を覚える。説明から語句を答えられるだけでなく、その語句を見て説明もできるようにする。
 - ・観察したいものを正しくスケッチできる。
 - ・実験器具について理解する。顕微鏡やガスバーナーなどの各部の名称・正しい操作手順を理解する。
- ② 「思考・判断・表現」
 - ・観察・実験の結果から分かることを考察する。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」
 - ・チャイム前に持ち物を準備する。
 - ・毎回の授業を真剣に取り組む、挙手・発言を心がける。
 - ・提出すべきものを提出する。
 - ・授業後は学んだことを家庭学習にて復習する。

	学習内容	学習のねらい
一学期	単元1「生物の世界」 1章 身近な生物の観察 2章 植物のなかま 3章 動物のなかま 残りの期間で単元2「物質のすがた」に入り、進める。	「身近な生物」について、 ①いろいろな生物の体の共通点と相違点に注目して理解する。 ②観察、実験などに対する技能を身に付ける。 ③生物を分類するための観点や基準を見出して表現する。
	単元2「物質のすがた」 1章 いろいろな物質 2章 気体の発生と性質 3章 物質の状態変化 4章 水溶液 単元3「身近な物理現象」 1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力のはたらき 残りの期間で単元4「大地の変化」に入り進める。	「身の回りの物質」について、 ①性質や変化に注目して理解する。 ②観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ③問題を見出し、見通しを持って観察・実験などを行う。 ④物質の性質や状態変化における規則性を見出して表現する。 「身近な物理現象」について、 ①日常生活や社会と関連付けながら、理解する。 ②観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ③問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行う。 ④光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見出して表現する。
三学期	単元4「大地の変化」 1章 火山 2章 地震 3章 地層 4章 大地の変動	「大地の成り立ちと変化」について、 ①地表に見られる様々な事物・現象と関連づけながら理解する。 ②問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行う。 ③地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見出して表現する。

令和6年度 草加市立青柳中学校 第2学年 理科シラバス

○教科の学習目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ④ 「知識・技能」
- ⑤ 「思考・判断・表現」
- ⑥ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ①定期テスト・確認テスト
実技試験(パフォーマンステスト) 等
- ②定期テスト
実験でのプリントの評価 等。
- ③授業での取り組み【挙手・発言】【提出物】

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。
1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

- ①「知識・技能」
 - ・教科書の太字の重要語句を覚える。説明から語句を答えられるだけでなく、その語句を見て説明もできるようにする。
 - ・観察したいものを正しくスケッチできる。
 - ・実験器具について理解する。実験器具の各部の名称・正しい操作手順を理解する。
- ②「思考・判断・表現」
 - ・観察・実験の結果から分かることを考察する。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」
 - ・チャイム前に持ち物を準備する。
 - ・毎回の授業を真剣に取り組む、挙手・発言を心がける。
 - ・提出すべきものを提出する。
 - ・授業後は学んだことを家庭学習にて復習する。

	学習内容	学習のねらい
一学期	単元1「化学変化と原子・分子」 1章 物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と熱の出入り 4章 化学変化と物質の質量 単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物をつくる細胞	・化学変化についての観察, 実験を通して, 化合, 分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに, これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。 ・生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解させる。 ・身近な植物などについての観察, 実験を通して, 生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに, 植物の体のつくりと働きを理解させ, 植物の生活と種類についての認識を深める。
二学期	2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 単元3 電流とその利用 1章 電流と回路 2章 電流と磁界	・動物などについての観察, 実験を通して, 動物の体のつくりと働きを理解させ, 動物の生活と種類についての認識を深めるとともに, 生物の変遷について理解させる。 ・電流回路についての観察, 実験を通して, 電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解させるとともに, 日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。
三学期	3章 電流の正体 単元4 気象のしくみと天気の変化 1章 気象観測 2章 気圧と風 3章 天気の変化 4章 日本の気象	・身近な気象の観察, 観測を通して, 気象要素と天気の変化の関係を見いださせるとともに, 気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。

令和6年度 草加市立青柳中学校 第3学年 理科シラバス

○教科の学習目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ⑦ 「知識・技能」
- ⑧ 「思考・判断・表現」
- ⑨ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ④ 定期テスト・確認テスト
実技試験(パフォーマンステスト) 等
- ⑤ 定期テスト
実験でのプリントの評価 等。
- ⑥ 授業での取り組み【挙手・発言】【提出物】

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。
1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

- ①「知識・技能」
 - ・教科書の太字の重要語句を覚える。説明から語句を答えられるだけでなく、その語句を見て説明もできるようにする。
 - ・観察したいものを正しくスケッチできる。
 - ・実験器具について理解する。実験器具の各部の名称・正しい操作手順を理解する。
- ②「思考・判断・表現」
 - ・観察・実験の結果から分かることを考察する。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」
 - ・チャイム前に持ち物を準備する。
 - ・毎回の授業を真剣に取り組む、挙手・発言を心がける。
 - ・提出すべきものを提出する。
 - ・授業後は学んだことを家庭学習にて復習する。

	学習内容	学習のねらい
一学期	単元1 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 水中の物体に加わる力 3章 物体の運動 4章 仕事とエネルギー	①物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、理解すること。 ②運動とエネルギーについて、見通しをもって実験などを行い、結果を分析して解釈し、力のつり合い、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。
	単元2 生命のつながり 1章生物の成長とふえ方 2章遺伝の規則性と遺伝子 3章生物の種類の多様性と進化	
二学期	単元3 自然界のつながり 1章 生物どうしのつながり 2章 自然界を循環する物質	①生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	単元4 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 化学変化と電池 3章 酸・アルカリとイオン	①化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 ②見通しをもって観察、実験などを行いイオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現すること。
三学期	単元5 地球と宇宙 1章 天体の動き 2章 月と惑星の運動 3章 宇宙の中の地球	①身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 ②星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い、地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解すること。
	単元6 地球の明るい未来のために 1章 自然環境と人間 2章 科学技術と人間	①日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。